



# 日中をITで結ぶ 懸け橋として奔走

## —— ビジネス成功のカギは「人」だ

「3～4年後に東証での上場を計画していて、中期経営計画の策定に入った」。そう語るのは、ウィナーソフトの周密 代表取締役社長だ。日本での留学を経て2007年、祖国中国で成都ウィナーソフトを起業。総裁兼CEOを務める。現在は拠点を東京に定め、日本法人ウィナーソフトの社長も兼務。日中を結ぶITの懸け橋として多忙な日々を送る周社長にITビジネスを目指す若者へのアドバイスを聞いた。

成都ウィナーソフトは2019年7月、NSDの100%子会社、日本RXテクノロジーに65%の出資を行い合弁をスタート。それまで成都ウィナーソフトの日本法人だったウインリッチを統合させた。20年4月には社名をウィナーソフトに変更し、名実ともに成都ウィナーソフトの日本法人として東京・神田で本格的なスタートを切った。「20年1月、北京から出張で東京に来た直後、コロナ禍に突入。とにかく隔離が嫌だったので、それ以降一度も中国に帰っていない。おかげで、日本人の立ち上げに集中できた」。周社長は流暢な日本語で話す。この3年で会社の規模を20名から100名まで拡大させた。取引先はパートナーのNSDを始め、富士通、日立

など国内有数のIT企業にとどまらず、イオンやコカ・コーラなどエンドユーザーにも広がっている。

株式上場を目指す理由について周社長は「日中間ビジネスのモデルケースを作りたい」と話す。「オフショア中心ではなく、日本と中国の技術者でコラボしたチームをつくり、日本の顧客のニーズにしっかりと応える。日中に限らず、アジアにある優れた技術を集め、それを顧客に届けることで、マーケットにも評価される企業にしていきたい」。この3年で、AI、モバイルペイメント、ロボット、AIデータなどの先端技術を持つ中国企業と組み、日本企業に提供するビジネスを展開。年商20億円規模まで業容を広げてきた。

そんな周社長に、ITビジネスを目指す若者へのアドバイスを求めた。「失敗を恐れずにどんどんチャレンジしてほしい。日本にとどまらず、世界に目を向けてやりたいことを実践してほしい」と、自身の経験に根差すメッセージをいただいた。「商社マンだった私が起業した時の手元資金は100万円。リスクを計算すると上海なら10カ月しか持たない。成都だったら2年持つ。そこで成都で起業した」と語る。「もし自分の技術に自信があるなら、お金に限らず応援してくれるスポンサーを募ることが大事だ。



ウィナーソフト  
周密 代表取締役社長

自分に足りない部分をどれだけ周りから引き出せるか、という対人能力がカギを握る。歴史上、成功したギークの隣には必ずマネジメントに秀でたパートナーがいた。キーワードは「人」だ。そんな人にどうやって出会うか。人の中にどんどん飛び込んでいくことが必要だ。人生をかけた勝負はそこで決まる」と話した。

**I-O DATA**  
株式会社アイ・オー・データ機器

**AMIYA**  
株式会社網屋

**interCOM**  
株式会社インターコム

協賛企業

**WINNERSOFT**  
ウィナーソフト株式会社

**MCJ**  
株式会社MCJ

**ELECOM**  
エレコム株式会社

**aucfan**  
株式会社オークファン

**OBC**  
株式会社オービックビジネスコンサルタント

**Q&A**  
キューアンドエー株式会社

五十音順・敬称略  
2022年10月現在

**QualitySoft**  
クオリティソフト株式会社

**CRIPTON**  
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

**SAKURA internet**  
さくらインターネット株式会社

**THIRDWAVE**  
株式会社サードウェーブ

**SANWA SUPPLY**  
サンワサプライ株式会社

**CCW**  
株式会社シー・シー・ダブル

**SEEDEA**  
株式会社シーディア

**JBCC**  
JBCCホールディングス株式会社

**Sky**  
Sky株式会社

**salesforce**  
株式会社セールスフォース・ジャパン

**NIKKO** 日興通信株式会社  
日興通信株式会社

**AMD**  
日本AMD株式会社

**NJC**  
日本事務器株式会社

**HAT**  
株式会社HAT

**BUFFALO**  
株式会社バッファロー

**PFU**  
株式会社PFU

**Pro-Ship**  
株式会社プロシップ

**弥生**  
弥生株式会社

**BCN**  
株式会社BCN

私たちは若きITエンジニアを応援しています

**A.JITEP**  
NPO法人 ITジュニア育成交渉協会  
Association for Junior IT Engineer Program

当協会の趣旨にご賛同いただき、ITジュニアを共に応援して下さる企業や個人の方を募集しています。日本の明日を担うITジュニアの育成活動に会員としてご参画ください。

入会のお問い合わせは <https://www.ajitep.org/contact/>まで